有機(オーガニック)は無農薬で栽培しなければならないか？

藤平 幸男氏　Sachio touhei
元生活協同組合職員

有機(オーガニック)栽培の基準は無農薬ではない

有機栽培の食品はオーガニック食品ともよばれます。有機栽培の食品を学校給食に使うという報道で「無農薬だから」という賛成意見が紹介されることがあります。有機栽培の農産物、その加工食品を買う人の理由でも同じことをきくことがあります。有機栽培の農産物、食品の宣伝のなかで「無農薬」という説明をみることもあります。農林水産省の WEB サイトには有機栽培は農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないことが基本と説明されていますが、やむを得ない場合には使用できる農薬があることも説明されています。

有機栽培の食品は「健康によい」のか

有機の食品を買う理由として「無農薬で健康によいと思うから」ときくことがありますが、英国の食品規準庁(FSA)は「有機食品と一般的食品との間の栄養成分並びに健康効果における差違に関し過去 50 年間に発表された文献を精査したところ、大きな違いはないとの結果が得られた」と公表しています。

有機栽培は持続可能な農業のシステム

アメリカのオーガニック食品の説明がアメリカ大使館であったときのことです。アメリカからきた説明者は「勘違いをしている人がいるようですが、オーガニックは食品安全のシステムではありません。農地の保全、環境のためのものです」と説明しました。
ブリタニカの WEB サイトには「生態学的に根ざした害虫駆除、主に動植物の廃棄物や窒素固定被覆作物に由来する生物学的肥料を使用する持続可能な農業システム」という説明があります。

有機の食品の説明を見直してほしい

有機の食品を買う人が、有機栽培への理解を深めながら利用できるようになるために、有機の食品の宣伝をする事業者には、有機栽培は農地の保全、持続可能な農業システムであることをしっかり説明してほしいです。